常磐毎日新聞
日刊
四月二十二日夕刊
發行所　常磐毎日新聞社
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

天氣豫報
今晩は北西風
明日も北西の晴一時曇

胸躍る社頭對面
靖國の合祀の英靈

護國の英靈祀る靖國神社臨時大祭は明二十三日から三日間執行され畏くも天皇陛下には若葉薫る二十五日御親拜あらせらるが今回合祀される英靈中地方關係者は左の如くこれら遺族父母、妻子達は九段社頭の對面に胸躍らせてゐる

△山田村歩少尉新妻清―妻キミ△鹿島村歩上橋本岩夫―父學△渡邊村同江尾一―父繁△小名濱町同佐々木徳太郎―父末吉△入遠野同上遠野小平―父瀧太郎△高久村同村上高男―父勇治△好間村同軍曹星正富―父傳四郎△神谷村砲伍齋藤長次―父木作△磐崎村歩伍高木惠三―父巳佐次△泉村同上遠野繁一―父銀三郎△小名濱町同吉田一郎―父子之松△田村歩上小野勉―母チエ、同蛭田倉之助―妻サツ△上遠野村同下山田家壽秋―父安太郎△内郷村同加藤留治―妻きぬ△貝泊村同蛭田玉好―父金之助△四倉町同出羽公一―妻ます△好間村工中尉安孫幸一―妻ノブ△湯本町工伍千葉盛一―妻キヨ△好間村歩軍曹齋藤洋一―母トク△泉村輜上佐藤榮吉―父源喜△入遠野村歩伍野崎精吉―妻ハル△江名町歩上猪狩喜代癸―妻ヨシエ△上遠野村同佐々木由雄―父由元△勿來町砲伍酒井健一郎―妻ミヨ△平市輜特一菅本利雄―妻キヨ△四倉町工上諸橋德藏―妻茂子△豊間村輜上遠藤清一―母リキ△小名濱町同小野恒雄―母ク△

是れは意外
電話申込僅か十三口
豫想裏切らる

（既報）三十日締切りで十一日から受付を開始した平局の本年度架設電話は殷賑産業の中心地だけに申込みも殺倒するものと局員も少なからず張切つてゐたが豫想は見事に裏切られて二十日現在で僅かに十三口、五六年度の不況時代においてすら見られなかつた奇現象を呈してゐる、この原因は時局下において電話架設は資材の不足から軍需關係工場が優先を持ち一般の申込者は容易に得られぬといふ關係といはゆるブローカー連の蔭をひそめた結果と見られるが局としては締切り期日までは未だ相當の餘裕があるから二十口以上になるだらうと觀測してゐる

四倉後援會

四倉町では紀元二千六百年の記念事業として教育後援會を組織したが役員は左の如く決定した

會長新妻盛、副會長長谷川林平、理事面川龜之助、豊田盛治、青木公丸、長谷川西次郎、杉原新伍、篠崎保治

御養蠶所を拜觀
酒井猶次氏の光榮

石城郡蠶業組合長酒井猶次氏は蠶糸業功勞者として縣から選ばれ宮城紅葉山御養蠶所拜觀の光榮に浴することゝなり二十九日頃上京する

產婆の總會

四倉署管内の產婆組合定期總會は二十七日同署で開かれる

死の獻金
夫の病死を追つて投身

勿來町字關田農眷治氏嫁渡邊定子（二六）さんは十五日夜長女の敏子（二）ちやんを脊にしたまゝ行方不明となつたので各方面に手配捜索中十九日夕刻勿來關下の石佛池に投身死体となつて發見された

定子さんは疾病除隊後死去された夫司さんの後を追つたもので死の直前苦しい中から貯金してゐた六百四十圓の內病父の扶養料を殘し三百円を國防献金してゐたこと判明したといふ

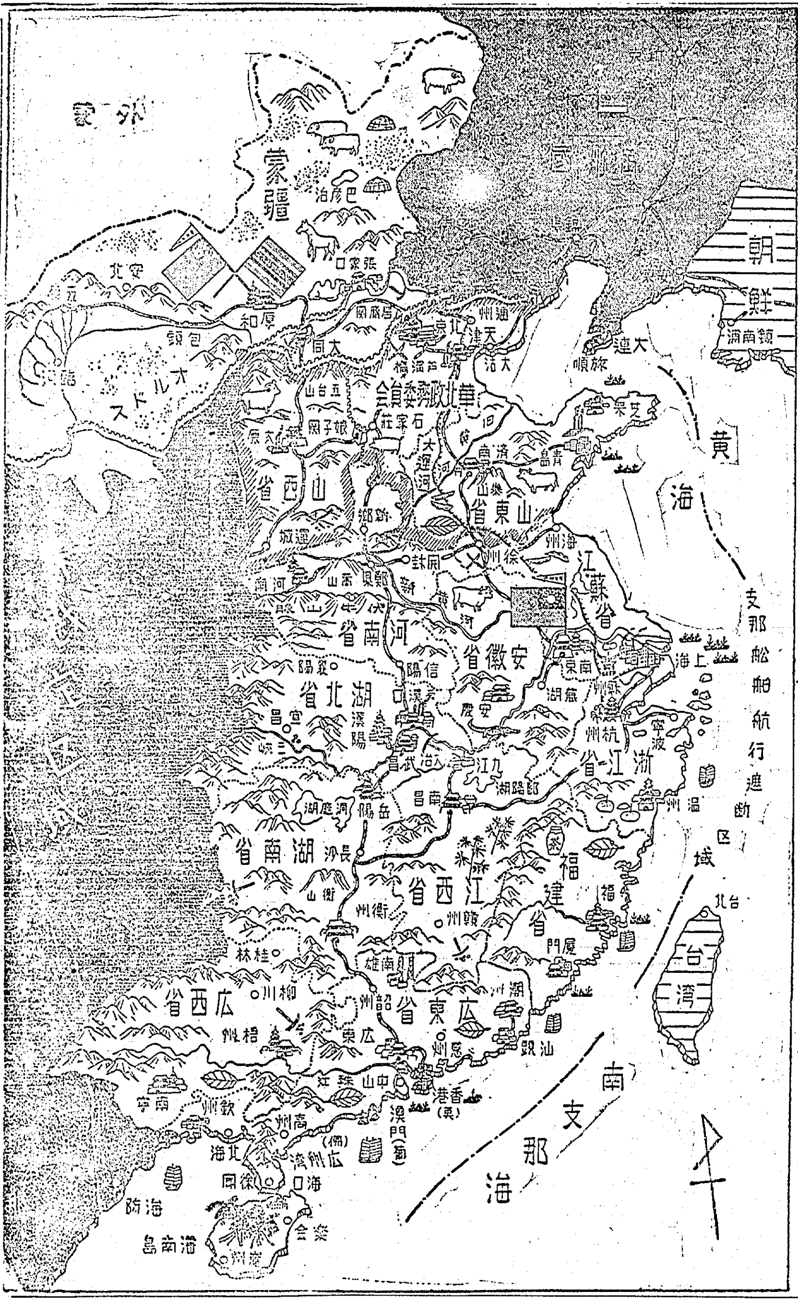
澤村公の社前に
白米を獻納して
米の增產祈願祭執行

小川江筋開鑿の恩人澤村勝爲公を祀つた草野村大字下神谷鄉社澤村神社の例祭は五月一日執行されるが當日は灌漑民が白米一升宛を獻納〃米の增產祈願祭〃を行ふ外皇軍將士の武運長久祈願祭も催すので大賑ひを豫想される

四十一の大學級數
四倉校增築

既報總工費四萬六千圓で二階建一棟一教室を增築することになつた四倉町の小學校二十八日午前七時から地鎭祭を執行直ちに着工するが竣工は八月末九月の二學期はじめから兒童を收容する筈尚同校はこれで合計四十一學級の大校となる

支那新政權の勢力圏要圖



小名濱支局通信
私學茨城中學を訪ふ
支局長　小野務平

【二】

志願者實に五百四十三名三人七分强に一人と云ふ率合を示し決して容易でない事を示して居る、其上縣外である處に多少の苦勞が加味されて居る事も計算に容れねばならぬ處から此受驗も樂觀を示さない次第である事は勿論であつた、先づ中學校の門前水戸旅館に陣取つて同行の櫻井喜和君と二人を一面に臨視役、一面に鞭撻役として五日に亘る受驗に對し準備を怠らなかつたのである。

初日は一班から五班までが身体檢査、六班から十一班までが運動能力考査であるが昭、櫻井の兩生は十班即ち運動能力考査である事が判つた、玆にも父兄として參考となる一事が展開された、磐中に於ける運動能力考査に就ては父兄側の參觀を禁じて居つたのであるが茨中は是れを公開して父兄母姉の眼前に於て考査をする事となつたのである。

學校側としては此の公開が良いか惡いかは種々議論もあり場所や其他の都合で參觀を禁じたのかも知らぬが父兄側から率直に言へば是れは當然公開して差支ないもので口問口答とは別な問題である以上絶對的に差支ない事との觀念を懐くに至つた許りでなく公開された結果に徴して運動能力が他の兒童とも比較し是れでは優劣が當然だと云ふ自分の子弟に對して其眞價を知るの機會を與へらるる事となつて非常に參考となる事が多かつた事を强調し得るのである。

然らば其運動能力考査の基本は何種であつたかと云ふと第一側轉、第二跳躍、第三懸垂の三種であつた、第一の側轉の如きは最も能く其能力を考査するに父兄側から喝采を叫はれたものであるが是又其能力の可否を判言するに容易であるから更に懸垂の如きも其巧拙はあつても回數によつて大体能力考査の基本として父兄側から判別がつく所に公開された特長が摑む事が出來たのである。

櫻井君の側轉、跳躍の二種は誰が採點しても良好であつたが、懸垂に至つても二回であつた所に遺憾があつたが出來榮へは良である事に異存はない、昭に至ては櫻井君と比して良好とは考へられなかつたが實際は三種とも良の部類に加ふべきもので殊に懸垂は五回を續け多少の餘裕を示した點から運動能力が合格疑ひないと信じたのであつた。

以上の成績を他の兒童に比較して見ると第一の側轉で大体の考査を容易ならしむるものがあつた様に考へらるるのであるが是れが亦受驗生の一大難關であつた様に見受けらるるのであつた。

第一日の考査は是れを以て終了、明二日目は身体檢査であつた。【續く】

米糖の脫脂工場
二萬八千餘圓で平市に

主務省が非脫脂米糠使用嚴禁に伴ひ福島縣商工課では年產五百萬俵にも近き縣下米糠を處理すべき脫脂工場を縣米商聯經營で三ケ所に急造と決定內一工場は早くも平市に建設されることになつたが豫算は二萬八千餘圓で本年八月頃までに竣成の豫定である

屠場で慰靈祭

平市の平屠場株式會社では二十一日午後一時から屠場で獸畜の慰靈祭を執行した

地下採掘調査

平市では二十五日午前九時から磐炭の地下採掘に關する調査委員の打合せ會を開くと

大相撲
雨天の爲め
二十四日に

地方における相撲ファンの血を沸かしてゐる双葉山の興行は今二十二日催される筈であつたが雨天のため二十四日に延期された

平市人事

出產

△南町三六目下東京市中野區多田町四〇岡島三郎氏三女光枝さん
△四丁目二五目下双葉郡上岡村大字本岡字門口三鈴木英一氏四女和子さん
△白銀町三五杉本實氏二男勝和君

婚姻

△杉平二〇八木澤一男氏（二六）と栃木縣芳賀郡茂木町字茂木三四二近澤キクノ（二〇）さん

ラヂオ
今晩の部

▼後六、〇〇　子供の時間お話「汪先生」淸水元
▼後六、二五　講演「新興纖維グラスファイバー並にロックウールに就て」日東紡績會社富久山工場長秀瀬日吉
▼後七、二〇　郷土に寄する言葉（錄音）農林省副業課長見坊衆光
▼後七、三〇　特別講演「事變と我が國經濟力」大藏參與官松田正一
▼後八、〇〇　浪花節「米粒出世婿」京山若丸
▼後八、三五　短歌の朗讀と朗詠
▼後八、四五　新聞民謠
▼後九、〇〇　府縣めぐり

明日部

▼前六、三〇　支那語講座江口虎竹
▼前七、〇〇　朝の修養「戰場の體驗談」（二）上原貞義
▼前七、二〇　音樂
▼前九、四五　幼兒の時間遊戯童話劇「ヨイ子ハ非ナイカ」（二）東京日の丸幼稚園兒
▼前一〇、〇〇　衛生メモ
▼前一〇、二〇　家庭の時間「時局下の榮養知識」（三）背壯年の榮養　醫學博士杉本好一
▼前一一、〇〇　小學生の時間（第二）對話「春が來た」
▼後〇、〇五　吹奏樂　星櫻吹奏樂團指揮辻順治　一、行進曲紀元二千六百年序曲櫻葉の冠三、四舞曲四月の風光四、東洋風行進曲キスメット
▼後二、〇〇　小學生の時間「電信電話の話」駒木二郎
▼後三、〇〇　婦人の時間看護婦の獻身　弘岡道明
▼後三、三〇　教師の時間「學校養兒の實際」青森縣訓導藤田忠吾
▼後五、三〇　講演「鄉土の櫻を語る」京道信次郎
▼後六、〇〇　コドモ時局講話　志賀野仁
▼後六、二五　講演ルーマニヤを語る　前ルーマニヤ駐在代理公使寺崎太郎
▼後七、二〇　鄉土に寄する言葉（錄音）東北振興精密機械會社顧問海軍少將柚松練磨
▼後七、三〇　靖國神社臨時大祭、招魂式模様：靖國神社招魂齋庭より中繼：：

鄉土に寄する言葉
見坊衆光（岩手出身）
（午後七時廿分放送）

東北地方は氣候の寒いこと積雪期間の長いことが著しい特色でありますがこの特異性は東北の發展を阻止するものでありますが、これを有利に活用すれば禍を轉じて福となるのでありまして、例へばこの氣候も利用すれば兎の毛皮羊毛の如きは良質なものが出ますし、積雪期間に加工的副業、例へば農村などでは繩、莚を作るに適切であります、これは一面に必要な物資を增產して國策の遂行に資すると共に他面農村經濟性をあたへることになりますので副業を持つことは誠に肝要なことであります。

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電話六七四番

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

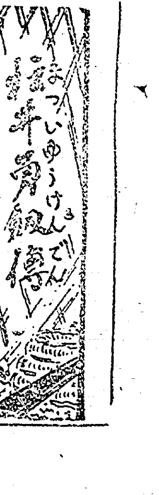
是非―
御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平・四　電話六〇六番

保姆を求む
◎保姆壹名急募
◇志望者は履歴書携帶の上來園せられたし
◇無資格者にても高女卒業者ならば代用保姆として採用す
◇俸給、其他は面談の上にて定む
平市十五丁目二六
私立淸風幼稚園

（夜間診療）
胃腸　性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
松村胃腸性病醫院
平市南町（電話一〇七番）

華道會員募集
初心者を標準として專門研究者並に教授者の爲に華道に關する理論及技術の大要を確實に習得せしむ
教授科目　生花、盛花投入、立華日本華道濫觴華道眞理、實地指習解說、傳書講義
時間　毎週日曜午前九時より正午迄　夜間部もあり
場所　平市田町五〇番地〔市役所西三光館横となり〕
―尚御希望に應じ出張教授致します―
池坊華道
先崎翠峰教授場

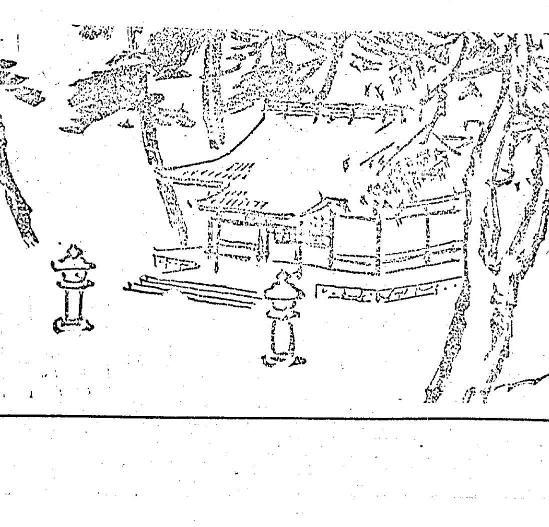
喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
喜多流　謠曲　仕舞
平市田町六九
白土會
電話一二七番



松井勇劍傳

第五十五回
合點のゆかぬ事

[illegible]擧動に就て〻居りますが、[illegible]ことは[illegible]の毛のよ立つほか[illegible]に於て、[illegible]して村の[illegible]に集りでもしては大[illegible]に燒き拂て、[illegible]を[illegible]中へ埋めて了ひ、[illegible]此處に[illegible]を一立てゝ逃ることとなりました。けれどもこれは後の話、[illegible]よく[illegible]を退治ることが出來たは何よりの[illegible]ひと、河內守[illegible]は一同を引連れて御[illegible]城に[illegible]りました、民次郎は叔父四郎右衛門の邸へ戻つて來た。四郎右衛門は今日の御供缺けて困りましたが、早くも此事を聞いて、四「民次郎、今は其の方[illegible]の働きをなし、[illegible]の御前[illegible]を救ひ[illegible]しとのことであるか」民「恐れ入りました 御家中の[illegible]が[illegible]しく聞いて若年者の[illegible]小[illegible]な[illegible]、如何かと思ひましたが、[illegible]に[illegible]あつてはと存じ、[illegible]を[illegible]みず大[illegible]を退治いたしました」四「イヤよく退治して呉れた。今日此方お供を缺いたため其方の働きを見る事が出來なかつたが、倅の話すところに依れば實に見事であつたと申すことである。お[illegible]も其まで大いに面目を施すであらう」と云つてゐるところへ、[illegible]より四郎右衛門へ[illegible]松井民次郎を召連れて登城致せよとの御沙汰、依つて四郎右衛門には民次郎を伴ひ[illegible]河內守[illegible]目通りへ罷り出でた。[illegible]內守は民次郎を[illegible]になると、天晴れ英傑の風貌、[illegible]たる[illegible]子、河「民次郎とやら、今日はよく大蛇を仕止め予の危急を救ひくれた。改めて禮を申すぞ」民「恐れ入り奉る」河「何か[illegible]地へ用でもあつて參つたか」民「ハッ、手前兄[illegible]民衛、同家中の高[illegible]九郎兵衛と申する者のために非業の最後を遂げた事により、其の仇を討たんため國元を出立いたしましたるが、御家中[illegible]四郎右衛門は叔父に當りますれば、兄の死を知らせんものと、[illegible]地へ罷り越したのでございまする」河「左樣か、定めし[illegible]であらう、首尾よく仇討本懐相成るやう」民「有難き御言葉、不肖民次郎千萬への味方を得たる心地致し[illegible]し上げ奉る」河「コレ民次郎かある。彼れに盃を取らせよ」[illegible]を縫はつた上河「今日の[illegible]に何かなど[illegible]つたなれど、これと[illegible]ふほどのものもない。此[illegible]子の先祖より傳はりし[illegible]の品である。納めてくれるやう」[illegible]物、勇士への贈り物としては[illegible]いたしたものでございます。[illegible]るとあるからは[illegible]いて止めは[illegible]さんなれど、[illegible]へなくば[illegible]留いたせ」と有難い言葉を[illegible]て退きました。サア其の日から中の[illegible]が山形の勇士松井民次郎[illegible]たお[illegible]ひたいと三々伍々打連れ立つて四郎右衛門の[illegible]へやつて來る。イヤ何うも大[illegible]、四郎右衛門の[illegible]に於ても民次郎の勇力に[illegible]く感心して、兄上々[illegible]の心得な[illegible]ねると云ふ有様、[illegible]な事で民次郎一日一日と出立つを止められて居りますと、何うも此の頃は叔父四郎右衛門の様子が變だ。家內の者と樂しく話し合つてゐるかと思ふと、急に深く物思ひに沈む樣子、それで時々ホーッと云ふ嘆息を漏らす。家內の者は更に氣がつかん樣子であるが、民次郎の見るところには何か四郎右衛門心に悩み切れない心配事がある樣子。國元山形にも隨分多く親類と云ふものもあるけれど、叔父叔母と云ふのは此の四郎右衛門夫婦より外にはない。其の一人の叔父の心配事、心にかゝるものですから、或る日の事四邊に人の居らぬを幸ひに民次郎、四郎右衛門に向ひ民「伯父叔父上、此の度びは思はず逗留仕まつて種々お世話に相成りました。何時までもお側に居たいと思ひますなれど、大望が控く身なれば、昨日にも出立いたしたき所、然し初めて御目にかゝり御家內御繁昌さしい御樣子を拜見いたし洵によろこばしき事と存じ居りますなれど、たゞ一つ近頃御心配の[illegible]參らぬ事がござりますか」と話しかけました。



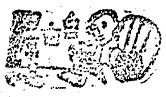
家庭と女性

……小ばなし……

「龍の繪を見ると、皆雲の中を飛んでゐるね」「あれが即ち飛行機の元祖さ」「手に丸い珠をにぎつてるね」「ウンあれがあれ爆彈のはじまりだらう」

無駄を拾ふ

稻沼史子



袂が和服の不便を解消する重要な要素だとしても、この非常時に不便な袂を日本全國の女が簡略に代へたら、そこから浮ぶ費用で何臺の飛行機や戰艦ができるだらう？といふこともこの非常時には眞面目に考へられる。

袂式の無駄は日本語にも多い。來る、居る、行くと極めて簡潔明瞭な語があるのに「おいで遊ばす」「いらつしやる」といへば外國人には行くのか、來るのか、判きりしなくなる。

元來文法的には簡單できれいな構成をもつ日本語が、あいまい、煩雜、冗漫と評せられる原因は大方、日本の女に得意の必要以上の敬語の使用に在る。

私の家の二つの床の間を合せると、約一坪位の場所になる。これがもし小さい室だつたら一人の寢室ができるだらう。どんな小さな家にも床の間はあるのに、勉強と勞働の爲に第一條件である睡眠を、必要な時に、十分にとることが保證されてゐないのは日本家屋の大きな缺點である。

之等の取捨に關して人の意見はまちまちであらう。とまれ我々の生活の中には、まだまだ因習から來る無駄が多い。

それと同時に、健康と知識と能率を増進するために文化生活に必須な條件を、現在の日本の衣食住がまだまだ多く缺いてゐることを忘れてはならないと思ふ。

汽車旅行　公衆道德
その心得七ヶ條
鐵道旅客課からのご注意

[illegible]は一般に鐵道旅客の殖える時です。まことに汽車の三等車と公衆便所ほど人情風俗訓練の反映するところはないといふ位です。殊に入學、就職のシーズンではあり[illegible]旅客の[illegible]は特に注意を要してゐます

一　乘車券と改札

一錢以下の端錢の類か團體乘車の際、十錢札を出してつり錢をとれるのに窓口でこまるばかりでなく、つり錢の出入に時間をとられたために他の乘客の迷惑となります。なほ、乘車券を帽子のリボンの間にはさんだり、外とうの折返の間にはさんだりすることは絶對にやめていただきたいことです。これらによつて中々事故が多いのです。また子供といふものは騒々とさわいで自分がもちたがるくせのあるものですが、油斷して窓の間にでもおとしたら、座席の膝板をはづさないかぎり、どうしてもとれるものではありません。ぜんから十分氣をつけていただきたいことです

二　食堂車

食堂車を利用される方々も大分ふえてきてゐるやうですから、如何に自分で金を出すのだからいゝとはいひながら酒びんを行列させて食卓にもたれて眠り込む、或はスリッパをつゝかけたまゝイスの上に寢り込む、ボーイが迷惑すると喰つてかゝるといふに至つては、これが銃後の生活かとは受取れないものが少くありません、殊に今日たはつばを床に吐いて靴のさきなどでこすつておくに至つては全く手がつけられない事がらです

三　寢臺車

目的地へつくまでにユックリ休んで行きたいために寢臺券をもとめられるのですから、途中から乘車される方は深夜の安眠者を妨げないやうにしたいものであります、ボーイと喧嘩にしても高聲を發したりすることのないやう、また、自分の履物をよく整えておくことに注意されたいとおもひます

四　洗面所

朝列車が終點へ近づかうとすると洗面所はにはかに忙しくなりますが、洗面器は使つたあとは次の人の迷惑にならぬやう清めておいていただきたい、御婦人の化粧などは自席でお願ひしたい、この二つは特に守つていただきたいことです

五　車內の便所

入る時には必ずノックすること停車中には絶對に使用を禁止すること、米國あたりの急行列車では驛に列車が入つてくると車掌が便所の鍵をかけるところがあります日本では現在出入自由主義ですが停車中に使用されると線路內で働いてゐる人達に汚物の洗禮をさせたり、隣の人や歩廊にゐる人に迷惑をもたせたりすることになりますから氣をつけたいことですなほ列車便所は素通しですから懷中物を落さぬやう御用心ねがひます

六　窓際の注意

窓際の座席を占めた方は窓の開閉に注意すること、いゝ加減に開放つたりして自分は涼風にあたりたいなどといふ個人的の考へから他人の迷惑をかまはず開放したり、タバコの火の灰殻を後の人に浴びせたり、いづれも愼むべきことです。また、子供達はハンケチを風にヒラヒラなびかせたり紙片などを飛ばしてうれしがつたりするものですが窓から頭や顔を出すことは危險ですから絶對にやめていただきたい、煤煙が眼に入ることもよくあることで、たちのよくない場合には瞳孔に當つたりして、途中下車をしなければならぬやうな不幸を見ることがあります

七　一降二乘三發車

全くこの標語の通りで、乘り降りはすべて順番にされるやうにねがひたいものです。米國のウエスティングハウスといふ電機會社の退け時の光景はいつも交通道德の世界的模範として知られてゐますが雨が降つても風が吹いても必ず順番によつて緩和してゐると聞いてゐます、他山の石として味ふべきことで、一たび停車場構內に入れば、貴賤貧富の差別なく驛長以下の指揮に從ふといふことは、たしかに美風の一つであると思はれます

赭ら顔で　腫れぼつたい
どんな化粧がよい？

（問）　十八歳になる娘ですがあから顔で頬やまぶたが腫れぼつたいのです。お化粧法とその白粉・頬紅・口紅の色等をお教へください。（由美子）

（答）　あから顔の人は、大抵赤味をかくさうとして白つぽい白粉をつけたり、頬紅を全然つけない人が多いやうですが、それは益す赤味を強調するやうな結果になりますので白粉はむしろ顔の色に近い黄色つぽい水白粉をつけ、目の上の腫れたところにはとのこ色をつけます。頬紅はダーク系の濃い色で薄くボカシ、口紅は明るいローズ色にします。

・・

なほこんないろの化粧をした時には、鼻と口の上下が非常に黒つぽく見えますから、そこだけは白粉のいろを少しうすくします。

・・

そして最後の仕上には、水白粉よりもぐつときれいで白つぽい粉白粉をたゝきつけてごらんなさい。

[illegible]

じやが芋の芽に猛毒がある
綠色になつたのもイケない

これからあたゝかになると、お臺所のすみなどでじやが芋の塊りによく芽が出てきますが御承知のどほりこの芽には猛毒ソラニンがふくまれてゐるので、お料理の時には必ずこの部分をとり去ることが必要です。又、芽でなくとも皮が特にみどりいろしてゐることがありませう、これは日光に直射されるとなるのですが、こゝにもやはりソラニンがあるので、こんなのはあつく皮をむきみどり色の處は決して召上つてはいけません、これをたべて馬が流產をしたといふ例もあるので、人間にはほんの少量でも中毒をおこすのです。次にお芋をどうしてもなるべく接觸させないやうに、ばらばらにおくことゝ一個一個新聞紙へでもつゝめば一そうけつこうです、それから日光の直射はもちろん避けるやうに、暗い涼しい場所へおゝきください（農業大學　稻泉智氏）

皺になり易い　スフのセル
縫ふ時の豫備知識

此頃には常時流行の（？）スフ入りセル地がうんと多く賣出されてゐます。新絲のセルの着心地もいさゝか變るわけですが何としても着ての縫セルのやうにドロリとしてしわになりやすい點は爭へませんから、仕立方にも十分御注意が肝要です。

◆地こしらへ　まづきつくかに[illegible]こしらへをします。と云ふのはそのまゝ裁つてぬつてしまふとアイロンをあてたり、雨にあたつたりするたびに伸び縮みが來ますからまづしつかり地つめをする必要があるのです。

それには布をひろげて裏から霧を吹き、當て布を敷いて攝氏八十度程度のアイロンをあてます。

◆裁ち方　地こしらへができたらよくかわいた處で寸法通り裁ちます。裁目はほつれやすいから、へらのさきにのり（普通の糊でもよし）を少しつけて一寸置き位に裁目の上にチョットつけてほつれ止めをするか、シツケ糸でかくまつゝておけばよろしい。

◆縫ひ方　縫ふ時の注意を申しませう。何としてもしわになりやすいのですからこれを幾分でも防ぐ意味で、

（一）脇の縫目にうすいテープを入れるか、絹の細い古布をあてゝぬひますと、一すかさばるやうですが、シンができるのでピンとします。背ぬひも腰から下は背ぶせをします。

（二）裾の三つ折ぐけの中へも二分巾のテープをいれるとシッカリシマス。ただ脇やおくみのぬいこみの處に高くなりますから避けてうすい箇所にのみいれます。

（三）針目は普通ですが四、五寸おきに三針四針返しぬひをすればよいでせう。全部半返しにぬへば理想的ですが、

（四）ぬい糸はスフが多量に混つてゐる時はカタン糸の七十か八十番位がよくスフ二、三分で毛七八分位なら絹糸がよろしい。純毛セルの場合絹糸でぬふとよくほころびができるのは毛の方が絹より強いからです。やはりカタン糸の方が丈夫です。

（五）又地がやはらかですからぬひ初めぬひ終りはしつかり止めて下さい。（三越裁縫部主任原田忠助氏談）

握りの食べ方

にぎりずしは左手に小皿をもち具を下に飯を上にいただきますとこぼれたりする心配はありません。立喰ひの場合は親指と中指ですしの中央は藥指で具をかるくおさへ人さし指で兩脇をさして飯を上にし手を離して口にはこびます。卵燒きやのり卷は適當に味つけしてありますから醬油をつけるとすし屋が悲しみます

髪をお洗ひになるなら

春になるとほこりが多くて洗髪も月二回以上は必要になります。

洗髪料にはつばき油のしぼりかすが一番よく次はふのりとうどんこなをとかしたものです、あらふ時もゆすときもすべて微温湯を用ひますが、[illegible]はにごらな[illegible]くなるまで[illegible]ねばいけ[illegible]

時局小說

驀進

士別一樹　作

北野傳　畫

第百二十八回

再會（三）

「大丈夫かね」

浩は微吉を抱けて自動車から降りながら聞いた。

「ただ大丈夫です大したことはありません」

腰部に繃帯を巻いた微吉は、やつと地上に降りたが元氣に答へて歩き出した。

顔色が、ひどく蒼かつた。

微吉は浩の腕に掴まりながら人混みの中をアパートまでやつと歩いて來た。

陽子が近くまで來て待つてゐたが、二人の姿を認めると、急いで駈寄つて來た。

そして傷ついた微吉の姿を見ると

「まア、一體どうなさいましたの」

と吃驚して訊いた。

「アザ櫻といふ奴にやられたんです、微吉はまだやつて來ませんね」

「まア、恐ろしい」

彼女は顔をしかめた。

「何、僕が居る以上心配はない、あんな奴は鼠みたいな人間でないと威目らしい」

と浩が云つた。其處へ好枝もお勝から戻つて來た。

微吉は部屋の隅に横になつて、ヂッと苦痛を堪えてゐたが、顔色は血の氣がない蒼さかつた。

好枝は浩から一切を聞かされてほんとに微吉に對して濟まないと思つた。

彼女は微吉の枕元に坐つて、改めて禮を云つたが何の返事もないので顔を覗き込んだが、ドキリとしてしまつた。

白い繃帯がグッショリと血で滲れて、昏々と眠り續けてゐるのであつた。

近所の醫者に診せると、大した事はないと思ふが、若し餘病を併發すると面倒だからと言ふので少しの間入院させることに決めて直ぐ病院へ連れて行つた。

熱が四十度近くになつて、絶えずうわ言を喋べつた。

「ねえ陽子さん大丈夫でせうか」

好枝は心細さうに訊いた。

「大丈夫よ、十日間もすれば治るつて診立ては同じですもの、そんなに心配しなくてもいゝのよ」

陽子は、さう云つて力付けたが自分でも何だかもつと大きな、恐ろしい不幸が段々近づいて來るやうな氣がしてたまらないのであつた。

然し微吉の經過は好くて、入院して四日目には、もう熱も下つてゐた。氣分もすつかり快くなつてゐた。

或日、浩が病院へ微吉を見舞つてゐる時、好枝が慌しく入つて來た。

「あの松本浩さんにお電話ですが」

「電話？有難う」

浩は陽子からであることは判つてゐるが、陽子とは先刻會つて來たばかりで用事がある筈がないと思ひながら受話器をとつた。

「え、なに、アザ櫻が來たつて、よしッ直ぐ行く」

浩は電話室から出るなり、そのまゝ病院を飛び出してアパートへ駈け出した。

彼が階段を上らうとして片足をかけた時、上から下りて來たのはアザ櫻であつた。

浩は上りかけた足を止めて、アザ櫻が下りて來るのを靜かに待つてゐると、アザ櫻は氣がつかないらしく通り過ぎやうとした。

浩はアザ櫻の腕をグッと掴んで

「おい、暫くしばらくだな」

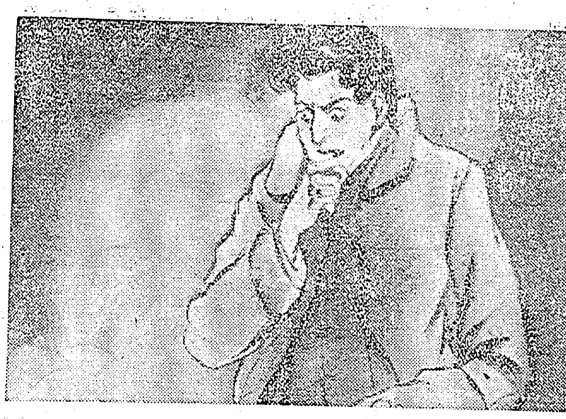
と聲をかけた。

アザ櫻は不意に自分の名を呼ばれてビックリした。この東京で、まさか自分の名を呼ばれやうとは思はなかつたからである。

彼は浩の顔を見ると「アッ」と叫んでとられた腕を振り切つて逃げださうとしたが、とられた腕はシビれるやうに強く食ひ入つてゐて、どうしやうもなかつた。

アザ櫻の額に二つ三つ冷い雨の雫が降つて、彼は表のコンクリートの上にベタリと崩れてしまつた。

「大將す、すまねえ、勘辨して下せ



毛類のお洗濯に
モノゲン
毛類は大切

今着てゐる毛類を、明年も明後年も御役に立せるには、ぜひモノゲンで正しい洗濯が肝要！石鹼質を含んだ擬ひの洗劑使へば哀れ毛類の命儚しと思召せ

市內有名店にあり

代理店

平二丁目　電五二

㊣中野洋品店

吸入用酸素　99%純度

度量衡

モノサシ　ハカリ　マス

計量器

體温計　寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

寫眞材料一式販賣致シマス

開内藥局

電話四〇番

氷賣場開設

今般御得意様の御便宜を計り工場內氷賣場を廢し大町　若松醫院前に氷賣場を設置、水野除介を賣場主任に採用仕り候間御引立願上候

追而　凍魚、鹽干物は從來通り本社（電二二八・三一六）にて取扱ひ可申候

平製氷株式會社

氷の御用命は

電話二一九九番

平製氷　直營賣所

平市大町

割烹

花村

平市田町　電話四番

一、產婦人科

一、外科一般

一、花柳病科

小名濱町小學校前（元土井醫院跡）

黑澤醫院

醫學士　黑澤　廣

電話四五番

今日から明日への流行歌

◎征戰愛馬譜

曉に祈る

ミスコロンビア　渡邊はま子

◎東寶映畫「蛇姫様主題歌」

蛇姫繪卷

志村道夫　奥山彩子

―輕音樂各種入荷―

ビクター　コロンビア　ラヂオ特約店

平市五丁目　電九三

金光堂時計店

旅舘

大手舘

私は平市出生ですから特に郷里の皆様方の爲に御便利を圖ります

主人　比佐棟雄

東京上野驛前（下谷郵便局横通角）

電話下谷六七七番

X光線科

外科內臟外科

院長　安齋徹

―新設―

▽入院隨意△

平市田町

安齋醫院

電話四五七番

◇和文欧文タイプライター

◇最新事務用品類

◇文房具一式

◇製圖並に測量用品

◇謄寫版並に附屬品

平市日町銀座街

東邦タイプライター代理店

東邦タイピスト養成所

藤森

電話三七〇番

振替仙臺五一〇番

（藤森事務用器商會）

◎女車掌（三名至急募集）

1、未經驗者ニ限ル

2、委細面談

3、優遇ス

平市二丁目

三井タクシー

電六八五番

洋酒と喫茶

麗人のサービス

氣分本位の店

タヒラ・ギンザ通り

グリル　バッカス

電七〇二番

鈴木醫院

平市田町

電話六一三番

洋品物は！

平市田町

玉屋

電六五六

提灯と國旗

メガネは！

平市二丁目

玉屋